

【別紙様式】

岩見沢市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	岩見沢市生活交通維持確保緊急支援金		
総事業費 (千円)	20,000千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	20,000千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルス感染症の影響で収支が悪化している市内バス路線について、感染拡大の防止と利用の回復を図ることにより、市民の移動手段の維持を図る。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、乗務員、車両等の感染防止対策経費 ・利用の回復を図るための経費 ・路線の維持及び安定的な運行に資すると認められる経費（減便の補償や減収への補填を目的とする経費は含まない） <p style="padding-left: 40px;">市内完結バス路線 20系統×100万円＝2,000万円</p> <p>③交付対象</p> <p>1) 交付対象者 岩見沢市内に営業所を有し、市域内に起終点を有するバス路線を運行する乗合バス事業者（北海道中央バス株式会社 1者）</p> <p>2) 交付対象者の選定理由・選定方法 市内に起終点を持つバス路線（7路線20系統）は、全て北海道中央バス株式会社により運行されているが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少しており、路線を維持しなければ市民生活に支障を来すことから、同社を交付対象者として支援金を交付する。</p> <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、市内バス路線の維持が図られることにより、市民の移動手段が確保される。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応（経済対策）との関係	<p>北海道中央バス株式会社が運行する市内バス路線は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛や旅行者の減少などにより、利用者が大きく減少しており、このままでは路線の継続が困難な状況に陥っている。</p> <p>本事業は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中で、北海道中央バス株式会社を交付対象者として支援金を交付し、地域住民の生活基盤であるバス路線を維持することを目的としており、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		